

# 水溶液の性質



解答

得点            /80

ア～カ 各5点×6

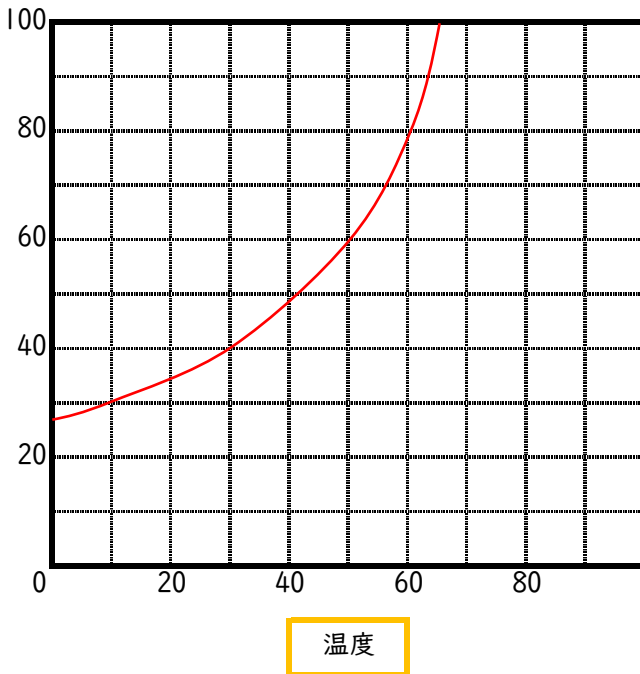
[1]～[5] 各10点×5

次のア.～カ.にあてはまる語句を書き入れ、下のグラフを参考にして【1】～【5】の問題を解け。

- ア. とけている物質。 (例) 砂糖・塩など
- イ. とかしている液体。 (例) 水・油など →ほとんどが水
- ウ. 溶質と溶媒を混ぜたもの。 とかしている液体が水の場合水溶液という。
- エ. 物質がそれ以上とけない水溶液。 →限界までとけている状態。
- オ. 一定量 (100 g) の水にとかすことのできる最大量。 物質や水の温度によって変化する。
- カ. 水にとけている物質を再び結晶として取り出すこと。

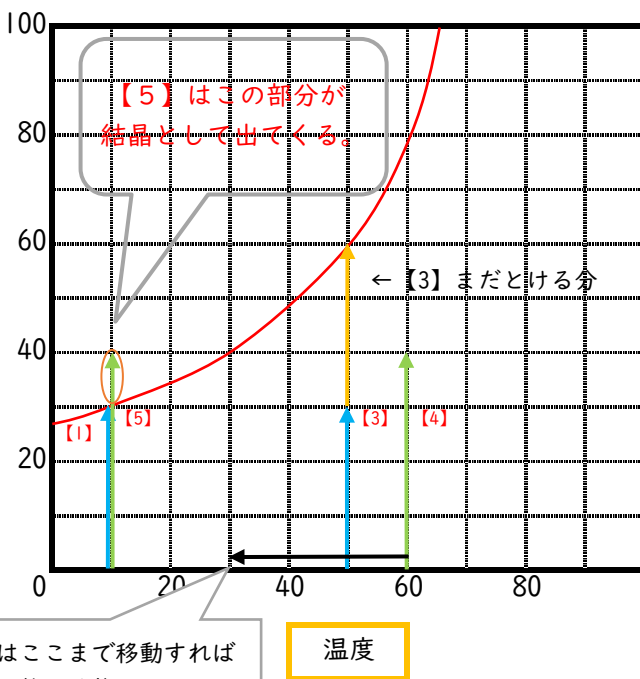
- ア.            溶質
- イ.            溶媒
- ウ.            溶液
- エ.            飽和水溶液
- オ.            溶解度
- カ.            再結晶

水100gにとける物質の質量



- 【1】 この物質は10°Cの水100 gに何 g までとけるか。
- 【2】 このとき飽和水溶液の質量は何 g か？
- 【3】 この飽和水溶液を50°Cまで上げるとあと何 g の物質をとかすことができるか。
- 【4】 この物質を60°Cの水100 gに40 g とかした。液体の温度を何°Cまで下げると飽和水溶液になるか。

水100gにとける物質の質量



- 【5】 【4】 の液体の温度を10°Cまで下げるとどのような現象が起こるか。
- 【1】            **30 g**
- 
- 【2】            **130 g**  
(水100 gに30 g とけた)
- 
- 【3】            **30 g**  
(50°Cには60 g とけるので現在とけている30 g を引けば出る)
- 
- 【4】            **30°C**  
(左の表の緑の矢印が現在とけている量なのでその矢印がぶつかる温度をさがせばよい。)
- 
- 【5】            **10 g が結晶として出てくる**  
(10°Cの水100 gにとける量は30 g なので40 g のうち10 g が結晶として出てくる。)